旭ヶ丘みんなのコンサート

６月 11 日に、旭ヶ丘市民センター４階の大ホールでミニコンサートが開催されました。
まだ、コロナ禍は収まってはいないということで、お客様は前もって予約された 50 人の方々だけでした。

お客様用の椅子は、80 脚ほど用意されていました。

ステージから見た当日の配置です。オーケストラと客席のスペースがほぼ同じでした。

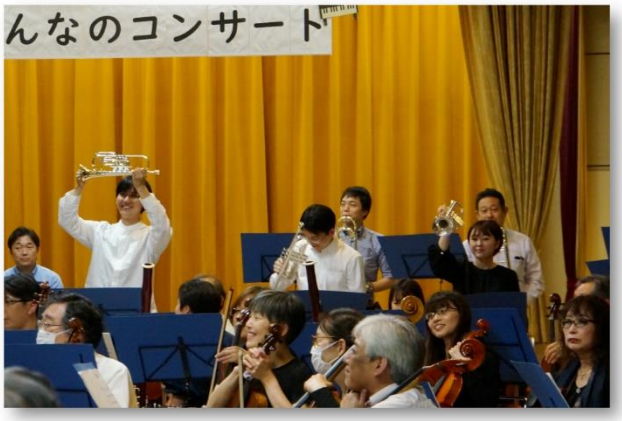
まずは館長さんのご挨拶です。「２階の事務室にいても、ニューフィルさんの素晴らしい演奏の音が聴こえてくる」とおっしゃってました。
そのあと、職員さんがプロフィールを紹介してくださったのですが、「当初は 20 名の管楽器奏者によって結成された」と、ちょっと微妙なご紹介でしたね。

団員の入場です。MC は Va の D さん。

演奏が始まります。
指揮者は、団長の K さんです。
まずはドヴォルジャークの序曲
「謝肉祭」とスラブ舞曲第３番。

続いて弦楽器のパート紹介、久石譲の「魔女の宅急便」より「海の見える街」です。

木管楽器のパート紹介では、メンバーがそれぞれソロで楽器を吹きました。
演奏したのは、同じく久石譲の「となりのトトロ」より「さんぽ」です。



金管楽器の各セクションと打楽器の楽器紹介。
金管はデュカスの「ラ・ペリ」のファンファーレ、打楽器は三木たかしのアンパンマンのマーチです。

最後はシューベルトの交響曲第８番より第１楽章。アンコールではチャイコフスキーの「くるみ割り人形」より「花のワルツ」が演奏されました。
１時間ほどのコンサートでしたが、とてもフレンドリーな雰囲気で、楽しんでいただけたのではないでしょうか。